

「働き方改革に関する総理と現場との意見交換会」

にポリテクセンター山梨「金属加工科」修了者が参加されました！

開催日：平成28年10月13日（木）17：50～19：00 場所：首相官邸

参加者：安倍内閣総理大臣、加藤働き方改革担当大臣、塩崎厚生労働大臣、

佐藤さん（ポリテクセンター山梨金属加工科修了）を含む民間転職経験者12名
意見交換会の詳細は首相官邸ホームページに掲載（動画付）！

出 展：http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/actions/201610/13hatarakikata.html



■ 佐藤さんの発表内容

山梨県の藤精機株式会社という、金属の総合加工を行っている会社に勤務しています。職業訓練受講後の就職で、前職はインターネットジュエリーショップの店長をしていました。ホームページ構築や顧客対応が主な仕事でしたが、昼夜問わずの勤務、有給休暇取得も難しく家事育児が疎かになってしまったので、子供と向き合えないという現実につきあたり、再就職を決意いたしました。

退職をして求職活動に入り、ハローワークにおいてポリテクセンター山梨の職業訓練体験講習と職業訓練コース説明会の存在を知ります。迷わず両方に参加、その中で以前より興味があった金属加工科の溶接体験に感動いたしました。ビビッときたのが入所のきっかけでした。



佐藤さん

安倍総理

金属加工科では訓練を受ける中で必ず溶接作業に必要な3種類の資格が取得できます。さらに、任意で溶接に関する3種類の資格を取得できますが、その資格をとるための実技訓練と座学学習を積み重ね、実際に取得することができました。その全てが自分の自信へと繋がり、就職活動に役立ったなと感じています。そして、一発で現在の勤務先に合格しました。

私は今、主にクリーンエネルギー関係や医療

品関係の寸法精度の厳しい精密溶接を行っています。金属加工科では、製図、プログラム、段取り、曲げ、溶接といった製品を作るにあたって必要な工程を一通り学べますので、就職後すぐに図面も読み取ることができましたし、作業自体はもちろん、図面を見ながらの製品検査などにも大いに役に立ちました。特に溶接については、時間をかけて学習しますので、現場で実際に作業に入る際も臆することなく、製品に向き合うことができました。

実際の職場環境も良好で、男女の差がなく仕事ができています。有給休暇なども取得しやすい環境にあり、職場の雰囲気もとても良いです。女性目線での提案などにも耳を傾けていただいているので、社内の美化や整理整頓の取り決めなども行うことができます。作業場全体の環境も非常に良くなりました。作業自体も女性に適した、丁寧さや繊細さを求めるものが溶接には意外に多く、その仕事には好評を頂いております。

最後にこれからの目標ですが、男社会と言われているものづくりのなかで、男女の壁を超えた働く女性の見本となれるように努力し、今まで以上に知識や技術を身に付け、ゆくゆくは自分のチームをまとめあげられるくらいのリーダーになりたいと思っています。

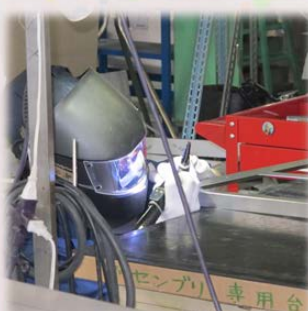
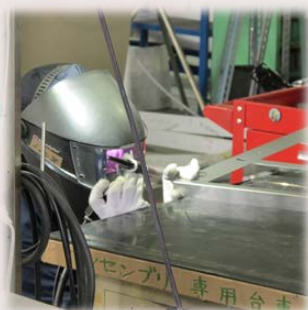


■ 参加者のご紹介



佐藤 志保 さん
金属加工科（平成
24年12月修了）

現在精密板金加工
の藤精機株式会社
で活躍中



ポリテクセンター山梨「金属加工科」のご紹介

機械板金製作工程（読図、板取、切断、曲げ、組立）や各種アーク溶接による接合作業の専門知識と技能・技術を習得できます。

職業訓練受講により取得できる資格：

ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、自由研削といし特別教育

